

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公表番号】特表2009-536231(P2009-536231A)

【公表日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2009-508248(P2009-508248)

【国際特許分類】

C 0 9 C 3/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

C 0 9 C 1/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 Q 3/02 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

A 2 3 L 1/275 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 C 3/06

A 6 1 K 8/29

C 0 9 C 1/00

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 11/02

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/25

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 Q 1/10

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 1/04

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 Q 3/02

A 6 1 Q 5/02

A 2 3 L 1/275

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月7日(2010.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 つの成分 A および B からなる顔料混合物であって、
成分 A が、

(A) モル比が $1 : 0.5 \sim 1 : 2.0$ の TiO_2 と Fe_2O_3 の混合物、ならびに場合により、層 (A) を基準として < 20 重量 % の量の 1 以上の金属酸化物からなる高屈折率コーティングと、

(B) $n < 1.8$ の屈折率を有する無色コーティングと、

(C) $n > 1.8$ の屈折率を有する無色コーティングと、

(D) $n > 1.8$ の屈折率を有する吸収性コーティングと、場合により、

(E) 外側保護層と

を含む層配列を有する多層コートフレック状基材に基づく効果顔料を含み、

成分 B が、無機顔料、有機顔料、染料、着色性天然果実、および / または植物抽出物の群から選択される着色剤、および / またはフレック状、針状、球状、もしくは不規則形状の粒子からなる増量剤を含む

ことを特徴とする顔料混合物。

【請求項 2】

成分 A の効果顔料が、以下の層構造、

基材 + $Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2$ 、

基材 + $Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + Fe_2O_3$ 、または

基材 + $Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + SiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2$

を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の顔料混合物。

【請求項 3】

成分 A のフレック状基材が TiO_2 または SiO_2 の層で被覆されることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の顔料混合物。

【請求項 4】

成分 A の効果顔料が、以下の層構造、

基材 + $TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2$ 、または

基材 + $TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + Fe_2O_3$

を有することを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 5】

成分 A の効果顔料の層 (A) の TiO_2 対 Fe_2O_3 のモル比が $1 : 1$ であることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 6】

成分 A の効果顔料の層 (D) の TiO_2 対 Fe_2O_3 のモル比が $1 : 1$ であることを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 7】

成分 A の効果顔料の層 (A) が、疑似板チタン石、または疑似板チタン石と TiO_2 もしくは疑似板チタン石と Fe_2O_3 の混合物の層であることを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 8】

成分 A の効果顔料の層 (D) が、疑似板チタン石、または疑似板チタン石と TiO_2 もしくは疑似板チタン石と Fe_2O_3 の混合物の層であることを特徴とする、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 9】

成分 A の効果顔料の層 (A) および (D) がそれぞれ、疑似板チタン石、または疑似板

チタン石と TiO_2 もしくは疑似板チタン石と Fe_2O_3 の混合物の層であることを特徴とする、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 10】

成分 B の着色剤が、成分 A とは異なる真珠光沢顔料、多層顔料、および / または干渉顔料、あるいはそれらの混合物であることを特徴とする、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 11】

成分 A および成分 B が混合比 99 : 1 ~ 50 : 50 で混合されることを特徴とする、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 12】

成分 A および成分 B が混合比 99 : 1 ~ 1 : 99 で混合され、成分 B が増量剤であることを特徴とする、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項 13】

層配列 (I L)、(A) ~ (D)、または (I L) (A) ~ (E)

(I L) TiO_2 の高屈折率コーティング、

(A) モル比が 1 : 0.5 ~ 1 : 2.0 の TiO_2 と Fe_2O_3 の混合物、ならびに場合により、層 (A) を基準として < 20 重量 % の量の 1 以上の金属酸化物からなる高屈折率コーティング、

(B) $n < 1.8$ の屈折率を有する無色コーティング、

(C) $n > 1.8$ の屈折率を有する無色コーティング、

(D) $n > 1.8$ の屈折率を有する吸収性コーティング、および場合により、

(E) 外側保護層

を有することを特徴とする、多層コートフレック状基材に基づく効果顔料。

【請求項 14】

以下の層構造、

基材 + TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2 、または
基材 + TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + Fe_2O_3

を有することを特徴とする、請求項 13 に記載の効果顔料。

【請求項 15】

Fe_2O_3 と TiO_2 の混合物が、疑似板チタン石、または疑似板チタン石と TiO_2 もしくは疑似板チタン石と Fe_2O_3 の混合物であることを特徴とする、請求項 13 または 14 に記載の効果顔料。

【請求項 16】

塗料、コーティング、印刷用インク、プラスチック、化粧品配合物、ならびに食品および医薬製品における、請求項 13 から 15 のいずれか一項に記載の効果顔料の使用。

【請求項 17】

化粧品配合物ならびに食品および医薬製品における、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の顔料混合物の使用。

【請求項 18】

顔料混合物が芳香物質および / または甘味料と組み合わせて使用されることを特徴とする、食品および医薬製品における、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の顔料混合物の使用。

【請求項 19】

請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の顔料混合物を含む配合物。

【請求項 20】

請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の顔料混合物を、配合物全体を基準として 0.01 ~ 99 重量 % の量で含む配合物。

【請求項 21】

水、ポリオール、極性または非極性の油、脂肪、ワックス、膜形成剤、ポリマー、コポリマー、界面活性剤、遊離基捕捉剤、酸化防止剤、安定化剤、香気増強剤、シリコン油

、乳化剤、溶媒、保存料、増粘剤、レオロジー添加剤、香料、紫外線吸収剤、表面活性補助剤、および／または化粧品活性化合物をさらに含むことを特徴とする、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の顔料混合物を含む、請求項 19 または 20 に記載の配合物。